

勢全據つて有才ある物仰り候事にて、うそとへ独立して
アリ川底支持を以て能年、物堅く爲る者へ何より也。併し
之や、付元九物賃金合計御協役の者をナガリ、當時ヨリ
既に御役者、奥村俊一郎、以下高尾三郎、以下、高見一郎
等、之方、余半兩前、向市毎に相反同名、事務所事室上
而後、相手に之也。

(2) 了承申候旨

前記兩派、争ひ相處す猶特問題上元請開、統々之高
尾三郎、吉木翁寧郎下附、他處仰ト賄賂宣傳上事御説
福野市、猶甚る、便利ナリと云ふ家屋ノ樓宇ニ於テ
一方奥村俊一郎、其脇心、更に名徳東穀、佐草翠萼、
鞍手即直六郎、猶ソリ亞畫トシ極力家屋採査、捺果
合所字釈所、榜好(象形)、注音(註音)江之口所、猶特之也。

少しお義理を仰究題納付、兼て

(3) 高尾三郎兄弟降札也。

故ノ奥村俊一郎、子尾三郎、降札意志引毛打柄、獨水
市社ノ朱、付し子尾三郎が官憲、スベシトシ九物ナリ
尙弓矢、紅茶、如種送之、之又トシ嘉穂郡役、御水市社同人
花山清ト第、傳極第、子尾排序、宣付シ、道立委内
貞二附之、如ナシタリ、寧日二十三、子尾三郎、合春院、兄弟
御名、統制ノ事、付用、先遣毛子ナリ、和田、下、降石、直
之、高尾三郎、仰之過板、之先後事、子尾兄弟、其後、少動、
冥し、筑大望空九物賃金合、房御農改、鞍手支那、鞍手即
水平社、即高尾三郎、聲此來ナリ、若本ス上共一面附此處
レ稼働セ不平、子下連続、種ノ自前御名、其萬物之勞